

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)

【公開番号】特開 2010-159507 (P2010-159507A)
 【公開日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-029
 【出願番号】特願 2009-1254 (P2009-1254)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 17/17 (2006.01)

D 2 1 H 19/10 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 17/17

D 2 1 H 19/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 1 日 (2011.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耐水張力が、3.5 秒以上である
 ことを特徴とするオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項 2】

原紙の両面に表面処理剤が塗工されており、
 前記表面処理剤が、
 接着剤と、アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と、高分子系表面サイズ剤とを含んで
 いる
 ことを特徴とする請求項 1 記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項 3】

前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤の塗工量が、片面当り 0.001 ~ 0.02 g / m² であり、
 前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と前記高分子系表面サイズ剤の塗工量の比率
 が、1 対 4 ~ 4 対 1 である
 ことを特徴とする請求項 2 記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項 4】

前記表面処理剤の接着剤が、
 ポリアクリルアミド系接着剤と澱粉系接着剤とを含んでいる
 ことを特徴とする請求項 2 または 3 記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【請求項 5】

J A P A N T A P P I N o . 3 2 - 2 に準拠した試験方法において、滴下水量 5 μ l
 を吸水する時間が 30 秒以上である
 ことを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載のオフセット印刷用新聞用紙。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

第 1 発明のオフセット印刷用新聞用紙は、耐水張力が、3.5秒以上であることを特徴とする。

なお、本明細書において、「耐水張力」とは、オフセット印刷用新聞用紙からなる C D 方向の長さが 1 5 m m、M D 方向の長さが 250 m m の紙片を、定速伸張形引張試験機に対して紙片の M D 方向の両端が保持されかつ紙片を保持する部材間の距離が 180 m m となるように取り付け、定速伸張形引張試験機によって紙片をその M D 方向に沿って伸長させ、紙片に付与される引張荷重が 6.0 N となった時点で紙片の伸張を止めて紙片の中央部に 1 5 μ l の水を付着させたときに、水の付着後、紙片から定速伸張形引張試験機に対して加わる引張荷重が 6.0 N から 4.0 N に低下するまでに要する時間をいう。

第 2 発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第 1 発明において、原紙の両面に表面処理剤が塗工されており、前記表面処理剤が、接着剤と、アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と、高分子系表面サイズ剤とを含んでいることを特徴とする。

第 3 発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第 2 発明において、前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤の塗工量が、片面当り 0.001 ~ 0.02 g / m² であり、前記アルキルケテンダイマー系表面サイズ剤と前記高分子系表面サイズ剤の塗工量の比率が、1 対 4 ~ 4 対 1 であることを特徴とする。

第 4 発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第 2 または 3 発明において、前記表面処理剤の接着剤が、ポリアクリルアミド系接着剤と澱粉系接着剤とを含んでいることを特徴とする。

第 5 発明のオフセット印刷用新聞用紙は、第 1、第 2、第 3 または第 4 発明において、J A P A N T A P P I N o . 3 2 - 2 に準拠した試験方法において、滴下水量 5 μ l を吸水する時間が 3 0 秒以上であることを特徴とする。